

結婚式

時代と共にその形態を変化させてきた結婚式。ジミ婚や海外挙式がブームになり、結婚式自体のあり方が問われる中、改めて結婚式という“人生のスタートラインの伝統儀式”を見つめ直してみましょう。

◆結婚式の意義

ヨーロッパやアメリカなどでは、式そのものよりも法律的手続きの方を重視していると言われます。一方、日本では人生における第二の人生の始まりとして、多くの人たちに報告すると共に祝福を受けるという意味合いが強いようです。

◆結婚式の起源

「古事記」の時代にはイザナギ・イザナミがオノゴロ島の八尋殿で結婚をしています。日本の挙式の代表とも言える神前結婚式が一般に広まったのは、明治30年に東京日比谷大神宮の拝殿で高木兼寛男爵媒酌の式が行なわれてから。それまでは自宅で古式に則って行なわれていたと言います。また総合結婚式の誕生は、昭和6年に目黒に誕生した雅叙園が第1号です。ちなみに海外ではギリシャ時代のゼウスとヘラが永遠の愛を大地母神ガイアに誓ったのが結婚式の起源とされています。

◆結婚式のスタイル

神前結婚式

その名の通り、神前で婚姻を報告し、誓いをたてるもの。祭主と呼ばれる神官が結婚式を司ります。神社を始めレストランやホテルなど、挙式と披露宴を同一会場で行なうことで便利なため普及しました。

仏前結婚式

仏様に結婚を誓う儀式。神前挙式の三三九度に当たる儀式が「念珠授与」と呼ばれる他、玉串奉奠の代わりに「焼香」が行なわれる点が特徴的です。

人前結婚式

一切の宗教に関係なく、両家の親族や媒酌人夫妻を始め、新郎新婦の職場の方、友人などを証人として行なう結婚式です。

キリスト教結婚式

キリスト教では結婚式も1つの宗教儀式と考えられてお

り、カトリック(旧教)とプロテスタント(新教)、その他の宗派によって式次第も大きく変わってきます。例えばカトリックの場合は死別を除き、いかなる理由でも離婚は認められていませんし、プロテスタントが“牧師”と呼ぶところをカトリックでは“神父”と呼びます。

◆東海地方の結婚式

全国的に見ても派手だとされ“娘3人持てば身上つぶれる”などとも言われています。実際、婚礼家具や電化製品などはすべて花嫁側で用意する場合があります。

◆日本の結婚式の変遷

～平安まで

形式	婿入婚
礼法	貴族の礼法
結婚年齢	男子15歳 / 女子13歳

鎌倉～江戸時代

形式	武士の間で嫁迎え婚が流行
礼法	武家の礼法、庶民にも武家の礼法が広まる

明治・大正

形式	嫁入婚の定着
礼法	神前・仏前式の登場
結婚年齢	男子17歳 / 女子15歳

昭和・平成

形式	自由恋愛婚の流行 / 結婚式の多様化
礼法	結婚式場が普及
結婚年齢	男子18歳 / 女子16歳

結婚式 Q & A

Q. 「菓子まき」ってなんですか？

A. 尾張地域の結婚式の行事の1つとして行なわれるもので、花嫁が実家を出る時、集まって来た近所の人たちにお礼の意味で2階からお菓子を投げるものです。